

## ライフキャリアの視点を取り入れたデジタル Book「THE INTERVIEW」の開発

【代表者】丸山 実子 島根大学 地域未来協創本部 人材育成・キャリアデザイン部門 准教授

### 【研究の目的と内容】

<はじめに>

これまで理系女性研究者を取材し理系進路を選択した先輩女性からのメッセージと題して「ロールモデル集 (vol.5)」まで発行し、翻訳・英語版、電子媒体化までもが存在する(島根大学ダイバーシティ推進室企画事業)。そこでは特に、紙媒体を主流としていたこともあり、郵送のみならず対面イベント実施と共に配布を期待したが、コロナ禍の影響で大きなダメージを被った。そのような中で、情報媒体は紙媒体から電子媒体へシフトされつつあり、手軽に自由に閲覧できる電子媒体の方が、現状好まれる傾向も出てきている。日常の好きな時間に、スマートフォンから女性のロールモデルが閲覧できるのは利便性があり求められ、その背景においても、女性誌はデジタルブックを好む層が増加している。※2021年電子書籍市場規模は5510億円。2020年度の4821億円から689億円(14.3%)増加。引用:インプレス総合研究所調査/新産業調査レポート『電子書籍ビジネス調査報告書2022』

そこで、本プロジェクトでは、電子媒体をメインとし、さらに、男性とは異なるライフコースを持つ女性に焦点を充て、「ライフキャリアの視点を取り入れたデジタル Book「THE INTERVIEW」を開発する。」

<目的>

「ライフキャリアの視点を取り入れたデジタル Book「THE INTERVIEW」を開発する。」

<内容>

デジタル Book「THE INTERVIEW」の中で、ロールモデルは理系に限定せず、様々な分野で活躍する女性へのインタビューを行い、女性も男性も共に働き、共に育む社会の実現を推進する。出身経歴(大学等)においても理系・文系併せて展開し、出身経歴からのキャリアが必ずしも一様ではなく、多様で一筋縄ではいかない実情も伝えていく。こうして、ライフスタイルは十人十色であり、業種も家庭環境も様々ことに気づき、より自分らしく輝くためのヒントを探す時のバイブルになることを目指す。

### 【研究の成果(本研究によって得られた知見、成果、論文、学会発表、外部資金への応募見込み等)】

●本研究で得られたこと、として以下としてまとめる。

#### ① 電子 Book(電子媒体)によって、長期間の情報閲覧が可能になった。

これまで紙媒体で配布し、該当する講義のみの閲覧に留っていたが、紙媒体から電子媒体から発信したことによって、学生にとっては長期間に渡って情報が閲覧できるようになった。

#### ② 電子 Book(電子媒体)によって、好きな時間に好きな場所でも情報閲覧が可能になった。

学生にとって、授業以外でも日常の好きな時間に、スマートフォンから女性のロールモデルが閲覧できるようになった。男性にとっては、自分のパートナーについて考える時期の参考になったという効果が得られた。

#### ③ 電子 Book(電子媒体)によって、40代～50代のライフキャリアへのイメージが可能になった。

本プロジェクト前までの研究では、特に女子学生からライフキャリアデザインシートの描き方について「40～50代のロールモデルもないためライフキャリアのデザインが難しい」ことが挙がっていた。そこで以下6名※にインタビューを実施し、電子 Book に掲載した。結果、閲覧した学生らは、これまで埋めることのできなかったライフキャリアシートの40代～50代の部分への埋まりが多くなり、結果としてイメージがついたことに繋がった。※6名にインタビュー(匿名) 1) Hさん 40代(43歳 経営者 既婚・3人子持)、2) Kさん 40代(45歳 大手商社 未婚)、3) Mさん 40代(46歳 医療事務 既婚・2人子持)、4) Tさん 50代(50歳 メーカー勤務 未婚)、5) Sさん 50代(50歳 公務員)、6) Cさん 50代(55歳 公務員)。

<まとめ>

本研究の目的、「ライフキャリアの視点を取り入れたデジタル Book「THE INTERVIEW」を開発」したことで、授業以外にも長期間、自分の好きな時間に好きな場所で40～50代のライフキャリアデザインについて閲覧でき、常に手元で学び続けることが可能になった。いつでも閲覧できるロールモデルは利便性があり自己の成長にもつながる。こうしてロールモデルによって成長した人は、自分がどのようにキャリアを進めたかをインプットしている。そのため歳を重ね、将来、指導する立場になった時、人材育成に活用するというようなアウトプットが可能にもなること

が期待したい。